

質問票の使い方③

質問票Ⅲ

赤ちゃんへの気持ち質問表(ボンディング)

育児の負担や赤ちゃんへの気持ちを評価するもので、否定的な気持ちや虐待の危険性の有無をチェックします。

あなたの赤ちゃんについてどのように感じていますか？

下にあげているそれぞれについて、いまのあなたの気持ちにいちばん近いと感じられる表現に○をつけて下さい。

- | | ほとんどいつも
強くそう感じる | たまに強く
そう感じる | たまに少し
そう感じる | 全然
そう感じない |
|---|--------------------|----------------|----------------|--------------|
| 1 赤ちゃんをいとしいと感じる。 | (0) | (1) | (2) | (3) |
| 2 赤ちゃんのためにしないといけないことがあるのに、
おろおろしてどうしていいかわからない時がある。 | (3) | (2) | (1) | (0) |
| 3 赤ちゃんのことが腹立たしくいやになる。 | (3) | (2) | (1) | (0) |
| 4 赤ちゃんに対して何も特別な気持ちがない。 | (3) | (2) | (1) | (0) |
| 5 赤ちゃんに対して怒りがこみあげる。 | (3) | (2) | (1) | (0) |
| 6 赤ちゃんの世話を楽しみながらしている。 | (0) | (1) | (2) | (3) |
| 7 こんな子でなかったらなあと思う。 | (3) | (2) | (1) | (0) |
| 8 赤ちゃんを守ってあげたいと感じる。 | (0) | (1) | (2) | (3) |
| 9 この子がいなかったらなあと思う。 | (3) | (2) | (1) | (0) |
| 10 赤ちゃんをととても身近に感じる。 | (0) | (1) | (2) | (3) |

状況を詳細に質問して、家事、育児の優先順位を自分で決めて実際にできているかどうか判断します。

どんな時か、つらくないか、強く感じる場合のストレスはどう考えているのか聴きます。
点数が高い場合は母親の赤ちゃんに対する怒りが強いことをあらわしています。虐待傾向が疑われます。

問3と問5の両方ともに1点以上の場合、虐待のリスクを念頭に置く必要もあります。

最近の具体的な出来事やその時の状況、どう対処したかを聴きます。
点数が高い場合は母親の赤ちゃんに対する怒りが強いことをあらわしています。虐待傾向が疑われます。

理想の子どもとのギャップがある場合、どんな点が違うのか質問します。

質問2.3.5.6.7.10が1点以上で高得点となっている場合は抑うつ症状との関連が深いので注意深く支援が必要です。
1点以上がついた質問項目、特に2点以上の高得点をつけた質問については、さらにそのことについて母親の気持ちを詳しく聴き、こちらからの質問を行い、内容を余白に記入します。

[出 展] 鈴宮寛子, 山下 洋, 吉田敬子: 出産後の母親にみられる抑うつ感情とボンディング障害 (精神科診断学, 14(1):49-57 2003)
使用方法の詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

吉田敬子, 山下 洋, 鈴宮寛子: 産後の母親と家族のメンタルヘルス 自己記入式質問票を活用した育児支援マニュアル (母子保健事業団, 2005.08)

1 結果の評価

- ▶ 質問10までの合計点数は30点満点で、得点が高いほど赤ちゃんへの否定的な感情が強いことを示しています。
- ▶ 質問3と5に1点以上がついた場合は話をよく聴く必要があります。

2 留意事項

(1)使用方法

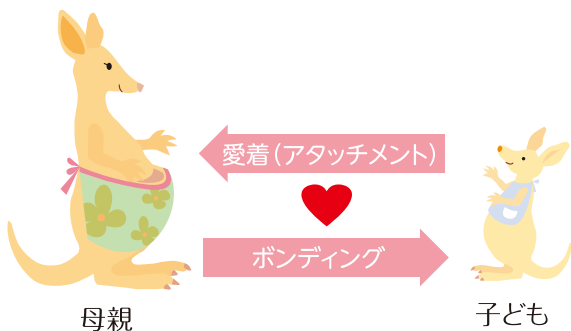
- ▶ 対象者には点数の入っていないシートに記入してもらい、結果(点数)の良否は伝えません。

(2) 点数の解釈に当たっての注意点

- ▶ 「エジンバラ産後うつ病質問票(EPDS)」の点数と合わせて考えます。うつ状態の母親であれば、「赤ちゃんへの気持ち質問票(ボンディング)」の結果は悪く(点数が高く)なります。
- ▶ 「エジンバラ産後うつ病質問票(EPDS)」の高得点者の点数が改善しても、ボンディングの改善(「赤ちゃんへの気持ち質問票(ボンディング)」の点数が下がる)がなければ継続的なフォローが必要です。
- ▶ 赤ちゃんへの気持ちに関する質問項目を糸口に母親の気持ちをよく聴いて、それが実際の育児の態度や行動にどのように反映されているかを理解し、虐待のリスクを把握して、育児支援をしていきます。

コラム

愛着 (アタッチメント) とボンディング



母親の子どもに対する情緒的な絆のことをボンディングと言い、赤ちゃんに何も感じない、むしろ拒絶や怒りを感じることをボンディング障害といいます。

また、子どもが養育者のもとに身の安全を求めて近づいて、安全・安心を得ようとする行動を愛着(アタッチメント)といいます。

子どもが何度も親を求めても親が応じないと、子どもも求めなくなってしまう。この状態が愛着障害であり、具体的には、泣かなくなる、睡眠が浅くなる、身長、体重が増えない、ヘルプを求めないといったことにつながります。